



## ～幼児期の教育から小学校教育へ～

### 子育ての目安「3つのめばえ」の活用について

#### ■ 要録に記載された事項の理解を深めるために

- 子育ての目安「3つのめばえ」は、幼稚園教育要領、保育所保育指針のねらい・内容を踏まえ、生活場面に即してより具体的な目安を示したものです。
- 幼稚園・保育所・認定こども園から送付される要録と併せて、児童の実態をより具体的に把握し、児童理解を深めるための話合いの柱として、就学前の連絡会などで活用してください。

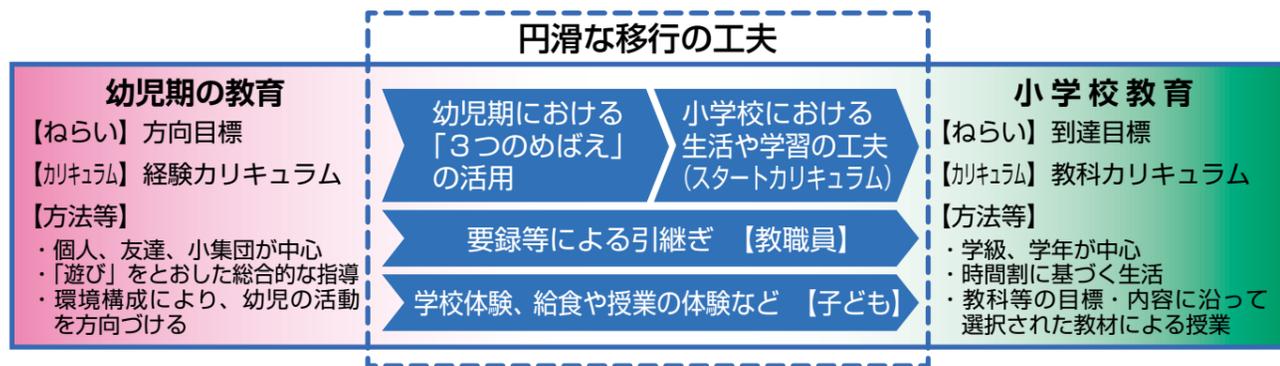
#### ■ 入学説明会や保護者会において

- 入学説明会や保護者会などで、保護者に小学校の生活や学習について説明する際に、幼児期の教育と小学校教育との連続性を説明するための資料として活用してください。

#### ■ スタートカリキュラムの編成に当たって

- 小学校学習指導要領生活科の解説において、児童の小学校生活への適応を進めるために、「第1学年入学当初においては、生活科を中心とした合科的な指導を行うなどの工夫をする」ことが示され、生活科を中心とした合科的な学習などの「スタートカリキュラム」の編成が期待されています。各学校の実態に即した取組の工夫が求められます。
- その際、子どもたちが幼児期においてすでに学んだり身につけたりしていることを把握し、実態に即した指導計画を作成するための資料として、子育ての目安「3つのめばえ」を活用してください。

### 子どもの発達や学びの連続性を踏まえた教育活動を目指して



#### ■ 発達の連続性を確保する

- 幼稚園・保育所・認定こども園などに積極的に出向き、保育を参観したり、体験したりする中で、就学前の子どもたちがどのような生活をし、どんなことを身につけているかを把握してください。
- 教職員が日常的に連携することにより、子どもの課題に適切に対応しやすくなります。幼稚園・保育所・認定こども園の先生方に授業を参観してもらったり、幼・保・小教職員の合同研修会で子どもの状況について話し合うなど、積極的に連携を図ってください。

#### ■ 学びのつながりを図る

- 幼児期は「学びの芽生え（無自覚的な学び）の時期」であり、児童期は「自覚的な学びの時期」です。この移行を円滑にするために、小学校では、子どもが幼児期にどのようなことを経験しているかを見通した上で、それをいかに生かしていくかを考えることが重要です。
- 子育ての目安「3つのめばえ」は、幼児期の発達の特徴を踏まえ、特に家庭における教育との連続性を重視して策定しました。それぞれの項目が相互に関連し合い、全体として小学校以降の生活や学習の基盤を培う構成となっており、「教育に関する3つの達成目標」の取組にも発展的につながっていくものです。

# 子育ての目安「3つのめばえ」

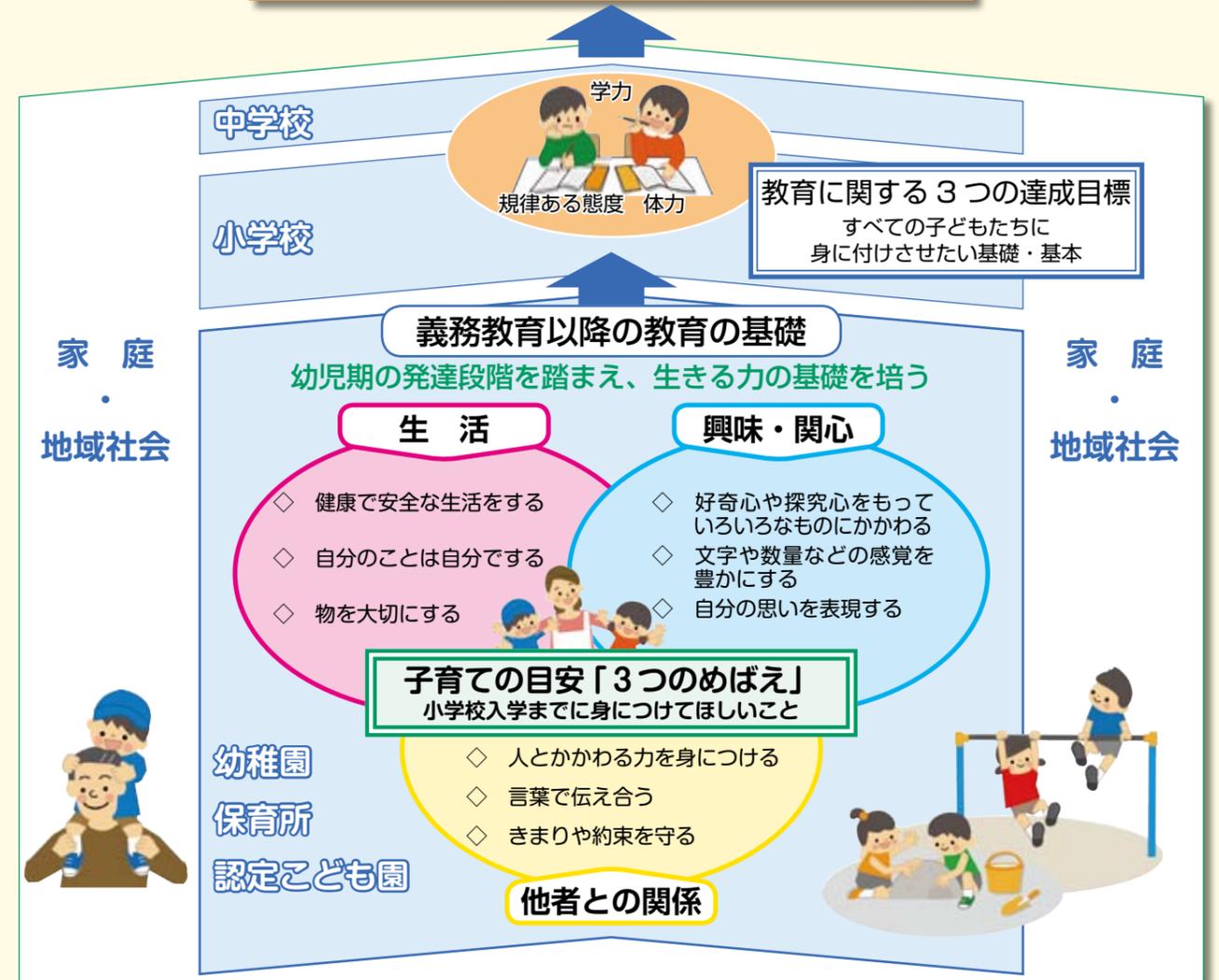
～子どもの発達や学びの連続性を踏まえた教育活動を目指して～

子育ての目安「3つのめばえ」は、小学校入学までに「これだけは身につけたい」という子育ての目安を示すものです。

幼児期には、幼児は、家庭において親しい人間関係を軸にして営まれていた生活からより広い世界に目を向け始め、生活の場、他者との関係、興味や関心などが急激に広がり、依存から自立に向かうとされています。

そこで、幼稚園教育要領及び保育所保育指針に示されたねらいと内容を踏まえながら、「生活」「他者との関係」「興味・関心」の3つの広がり注目し、この視点から小学校入学までに身につけてほしいことを、子育ての目安「3つのめばえ」として取りまとめました。

### 生きる力を育て 絆を深める埼玉教育



家庭と幼稚園・保育所・認定こども園、小学校が手を取り合って、健やかな子どもの育ちを支えましょう。

## 家庭で身につけてほしいこと

### 規則正しい生活リズムを身につけましょう

- ・「早寝、早起き、朝ごはん」の習慣を身につける
- ・登園などの時刻を意識し、行動する

### 戸外で遊びましょう

- ・進んで戸外に出て遊ぶ
- ・安全に気をつけて行動する
- ・交通ルールを知り、守る

### 自分のことは自分でしましょう

- ・着替えや衣服の始末をする
- ・かばんや帽子などを決まった場所にしまう
- ・脱いだ靴をそろえる

### 物を大切にしましょう

- ・遊んだ後の片づけをする
- ・食べ物や紙などを大切に使う

### 家族とのあたたかいつながりをつくりましょう

- ・園での出来事や思ったこと、考えたことを家族に話す
- ・家の手伝いをする
- ・兄弟姉妹や友達と遊具などの貸し借りをして一緒に遊ぶ
- ・小さい子どもやお年寄りに思いやりをもって接する

### 返事やあいさつをしましょう

- ・元気よく「はい」と返事をする
- ・「おはよう」「いただきます」「ごちそうさま」「ありがとう」「ごめんなさい」が自然に言える

### きまりや約束を守りましょう

- ・よいこと、悪いことがわかり、考えながら行動する

### いろいろなものへの興味・関心を高めましょう

- ・身近な自然などに触れ、美しさや不思議さなどを感じる
- ・興味・関心をもったものにじっくりと取り組む
- ・いろいろなものに疑問をもち、尋ねる

### 生活の中で、文字や数などに触れましょう

- ・家の人に絵本や物語を読んでもらう
- ・数を数えたり、集めたり、分けたりする
- ・園の名前や自分の年齢などが言える

### 夢をもちましょう

- ・やってみたいことやなりたい人などのあこがれをもつ

## 子育ての目安

# 「3つのめばえ」

## 生活

健康で安全な生活をする

自分のことは自分でする

物を大切に使う

## 他者との関係

人とかかわる力を身につける

言葉で伝え合う

きまりや約束を守る

## 興味・関心

好奇心や探究心をもっていろいろなものにかかわる

文字や数量などの感覚を豊かにする

自分の思いを表現する

## 幼稚園・保育所・認定こども園で身につけてほしいこと

### 先生や友達と食べることを楽しむ

- ・食事に関するきまりやマナーを守りながら、楽しく食べる
- ・食べることの大切さがわかり、食べ物に関心をもつ
- ・生活の流れや準備・片づけの手順などを意識して、一定の時間内に食べ終えようとする

### 戸外で体を動かす

- ・十分に体を動かして遊ぶ

### 安全に気をつけて行動する

- ・危険な場所や危険な行動がわかり、安全に気をつける

### 生活に必要な活動を自分でする

- ・着替えや持ち物の始末を自分でする
- ・脱いだ靴をそろえる
- ・困ったときに自分で考えて解決しようとしたり、先生や友達に相談したりする

### 自分の物や皆で使う物を大切に使う

- ・遊んだ後の片づけをする
- ・共同で遊具を使い、協力して片づけをする
- ・水や紙などを大切に使う

### 友達と一緒に遊ぶ

- ・年少児などに思いやりをもってかかわる
- ・自分の気持ちとは異なる友達の気持ちを理解したり、共感したりする
- ・自分が嫌なことや困ることは友達にもしない
- ・友達と共通の目的に向かって取り組み、やり遂げた喜びを味わう

### 親しみをもって日常のあいさつをする

- ・元気よく「はい」と返事をする
- ・先生や友達に「おはよう」「さようなら」「ありがとう」「ごめんなさい」が自然に言える

### 言葉をとおして先生や友達と心を通わせる

- ・先生や友達の話に注意して聞き、理解する
- ・自分の思いや考えを先生や友達に言葉で伝える

### 友達と共に生活する充実感を味わう

- ・友達と楽しく生活する中できまりの大切さに気づき、守ろうとする
- ・集団の生活の流れや時刻を意識し、みんなと一緒に行動しようとする
- ・よいこと、悪いことがわかり、考えながら行動する
- ・互いのよさを認め合い、友達と協力して活動する

### 生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れる

- ・身近な自然などに触れて遊び、美しさや不思議さなどを感じる
- ・自然物や自然の事象を遊びや生活に取り入れ、四季を感じる
- ・動植物と触れ合い、生命の大切さに気づく

### 興味・関心をもったものに集中して取り組む

- ・考えたり工夫したりして遊ぶ
- ・いろいろなものに関心をもち、より深く知ろうとしたり、試したり確かめたりする
- ・話や短い物語を集中して聞く

### 生活の中で文字や数量に触れる

- ・文字で伝えることの楽しさや意味に気づき、生活の中で文字を使う
- ・生活のいろいろな場面で、物や人の数を数えたり比べたりする
- ・生活のいろいろな場面で、量を測ったり比べたりする

### 自分の思いを表現する

- ・思ったことや感じたことを言葉で表現しようとする
- ・考えたことや経験したことをいろいろな方法で表現する
- ・絵本や物語の世界を楽しみ、感動を味わったり、演じて遊んだりする

## 幼児期の教育

## 「遊び」をとおして行う総合的な指導から

## 生活

健康で安全な生活をし、元気に遊ぶことをとおして、自分から積極的に物事にかかわる姿勢が身につきます。

自分のことを自分で言い、進んで行動できることは、小学校生活における意欲につながり、ひいては、社会に出てからも自ら考え、進んで物事を解決しようとする力になります。

## 他者との関係

幼児期においては、家族とのあたたかいつながりを基盤として、人を信頼する気持ち、他者への思いやり、社会のきまりを守ろうとする気持ちをはぐくんでいます。

また、友達と共通の目的をもって取り組む活動（協同的な学び）を重視することが、小学校教育へとつながってきます。

## 興味・関心

「ふしぎだな」「おもしろいな」と興味・関心をもち、気づいたり、考えたり、試したりする中で、「できた」「わかった」という体験を重ね、学ぶことの楽しさを知ります。

幼児期に豊かな体験を重ねることにより、小学校での学習の内容を実感をもって理解することができるようになります。

## 小学校教育

## 教科等の学習を中心とした指導へ